

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 6 年 3 月 26 日(2024.3.26)

【公開番号】特開 2022-160072(P2022-160072A)

【公開日】令和 4 年 10 月 19 日(2022.10.19)

【年通号数】公開公報(特許)2022-192

【出願番号】特願 2021-64593(P2021-64593)

【国際特許分類】

H 0 4 W 12/50(2021.01)

H 0 4 W 12/47(2021.01)

H 0 4 W 76/10(2018.01)

H 0 4 W 4/80(2018.01)

H 0 4 W 84/10(2009.01)

H 0 4 M 1/00(2006.01)

G 0 6 K 19/07(2006.01)

G 0 6 K 19/06(2006.01)

G 0 6 K 7/10(2006.01)

G 0 6 K 7/14(2006.01)

10

【F I】

20

H 0 4 W 12/50

H 0 4 W 12/47

H 0 4 W 76/10

H 0 4 W 4/80

H 0 4 W 84/10 1 1 0

H 0 4 M 1/00 Q

G 0 6 K 19/07 2 3 0

G 0 6 K 19/06 0 3 7

G 0 6 K 19/06 1 1 2

G 0 6 K 7/10 2 5 2

G 0 6 K 7/14 0 1 7

G 0 6 K 7/10 4 6 4

30

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 3 月 14 日(2024.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理端末との間で近距離無線通信を行う第 1 通信部と、

前記近距離無線通信を介して前記情報処理端末と接続するための第 1 接続情報を記憶する第 1 記憶部と、

前記近距離無線通信を介して自己と接続するための第 2 接続情報を出力する第 1 出力部と、

前記第 2 接続情報の出力を制御する第 1 制御部と、を備え、

前記第 1 制御部は、前記情報処理端末により前記近距離無線通信を介して送信された前記第 1 接続情報が前記第 1 記憶部に記憶されていない場合、前記第 1 出力部から前記第 2

50

接続情報を出力させることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記第 1 制御部は、前記第 1 通信部が前記情報処理端末から前記近距離無線通信の電波を受信していない場合、前記第 1 出力部から前記第 2 接続情報を出力させることを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記第 1 出力部は、二次元コードを出力する表示部を備え、

前記第 1 制御部は、前記第 2 接続情報を前記第 1 出力部に出力させる場合、前記第 2 接続情報を前記二次元コードとして前記表示部に出力させることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

10

【請求項 4】

前記第 1 出力部は、非可聴音を出力する音出力部を備え、

前記第 1 制御部は、前記第 2 接続情報を前記第 1 出力部に出力させる場合、前記第 2 接続情報を前記非可聴音として前記音出力部に出力させることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置と、前記情報処理端末と、を備えた情報処理システムであって、

前記情報処理端末は、

前記情報処理装置との間で前記近距離無線通信を行う第 2 通信部と、

20

前記第 1 出力部に出力された前記第 2 接続情報を取得する取得部と、

前記取得部が取得した前記第 2 接続情報に基づいて、前記情報処理装置との間の前記近距離無線通信の設定を行う第 2 制御部と、

前記情報処理装置との間で前記近距離無線通信の設定が行われた場合、前記取得部が取得した前記第 2 接続情報を記憶する第 2 記憶部と、

を備えることを特徴とする情報処理システム。

30

40

50